

「指宿枕崎線(指宿～枕崎)活用に関する検討会」 における 2023年度の取り組みについて

1. 検討会の取り組み概要

指宿枕崎線(指宿～枕崎)を持続可能な線区とするための活用策を検討・実行し、多くのお客さまに選ばれる交通手段になることを目的として、2023年度は「指宿枕崎線(指宿～枕崎)活用に関する検討会」を計3回開催しました。

検討会では、線区のご利用実態に関する情報共有や、ご利用者を増やすための線区の活用策の検討および実施に向けた協議などに取り組み、それらを踏まえ各主体にて活用策を実施した結果、多くの方にご参加等頂きました。

2. 出席者

指宿市、南九州市、枕崎市、鹿児島県、国土交通省九州運輸局、九州旅客鉄道株式会社

3. 実施した線区活用策

「果ての鉄道展」の開催（枕崎市）

指宿枕崎線全線開通 60 周年、枕崎駅舎建設 10 周年を記念し、「鉄道が走る南薩の魅力」に触れ、また「モビリティ・マネジメント」を推進し、公共交通が「社会基盤」であるという意識の醸成を図る企画展を開催しました。

・来場者 4,260名
(うち、JR 利用者約 440 名)



西郷娃駅を利用したイベントの開催(南九州市)

西郷娃駅の駅舎や駅前スペースを活用し、鉄道模型走行会やミニマルシェ等のイベントを実施しました

・来場者68名(うち、JR 利用者7名)

列車を利用した「謎解きイベント」の実施

(鹿児島県鉄道整備促進協議会)

鉄道の魅力発信や鉄道での移動促進を目的に、列車の移動を伴う謎解きイベント「探偵ニャーロックとミステリートレイン」を企画・開催しました。

・イベント参加者130名

JR 指宿枕崎線利用促進事業(南九州市、枕崎市)

社会見学を行う団体への運賃の一部補助や小中学校の校外学習における運賃全額補助、各種啓発活動を実施しました

- ・広報紙や市 HP での利用啓発
- ・教育委員会や学校への働きかけ
- ・課外授業への講師派遣
- ・参加者116名
(うち、JR 利用者116名)



「いぶすきバル」の開催(指宿市)

指宿駅前でいぶすきバルを 2 回開催し、併せて JR 利用者への運賃の補助を行うことで、地域間交流の拡大と鉄道利用の促進を図りました

・来場者960名
(うち、JR 利用者40名)



全体

この他にも指宿枕崎線をまちづくりに活用するプロジェクトや指宿枕崎線開業 60 周年イベントなど全14件の線区活用策を実施し、全体の参加者等は約 9,700 名(うち JR 利用者 約 1,100 名)でした。

4. 2024年度に実施予定の主な線区活用策

2024年度は以下の活用策の実施を予定しております。引き続き、指宿枕崎線の更なる活性化にご協力をお願い致します。

- ・指宿駅前における「いぶすきバル」の開催
- ・指宿枕崎線シンポジウムの開催
- ・山川駅の簡易委託による活用
- ・西穎娃駅の駅舎等を活用したイベント等の開催
- ・沿線駅の伐採、清掃作業の実施
- ・未就学児や児童生徒、高齢者の団体利用への支援及びその広報(JR 指宿枕崎線利用促進事業)
- ・謎解きイベント開催や企画乗車券造成への支援など(地域鉄道活性化支援事業)
- ・指宿枕崎線をまちづくりに活用するプロジェクトの活動支援